

形式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Cosmetic results of cryosurgery versus surgical excision for primary uncomplicated basal cell carcinomas of the head and neck.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ( 1 )	
	ガイドライン上での目次名称	B C C C Q 6 - 4	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 ( II )	
	Pubmed ID	10940063	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Dermatol Surg.	
	雑誌 ID		
	巻	26	
	号	8	
	ページ	759-64	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 ( 1 )	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 ( 2 )	
	発行年月	2000	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Thissen MR	Maastricht 大学
その他著者 1		Nieman FH	同上
その他著者 2		Ideler AH	Cathlina 病院
その他著者 3		Berretty PJ	同上
その他著者 4		Neumann HA	Maastricht 大学
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	頭頸部基底細胞癌の手術療法と凍結療法で整容的にはどちらが優れるか検討すること	
	研究デザイン	ランダム化試験	
	セッティング	Maastricht 大学	
	対象者	96 例の初発頭頸部基底細胞癌（結節型または表在型）	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 15 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	整容性	1.主要 2.副次 3.その他（1）
	2	再発率	1.主要 2.副次 3.その他（2）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）	
9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）	
10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）	
主な結果	手術療法（48 例、結節型 6 例表在型 42 例） 凍結療法（48 例、結節型 8 例表在型 40 例） 臨床的専門家は手術療法は凍結療法より整容的に優れると回答。 1 年後の臨床的再発率では手術 0%、凍結 6.25%：有意差なし		
結論	一般に手術療法の方が凍結療法より整容的にすぐれている。		
備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	師井 洋一	

	レビューワーコメント	<p>エビデンスのレベル分類 (II)</p> <p>整容面に焦点を当てた研究ではあるが再発率でも手術療法が優れていることを示している。整容面では、臨床専門家（皮膚科医、皮膚科看護師、形成外科医）の評価よりも美容専門家や患者の評価（有意差なし）がより重要な印象がある。</p>
--	------------	--